



***Do as I Do* トレーナー認定試験ガイド**

Do as I Do トレーナーを目指す受験者の皆さまへ



こちらはDo as I Do認定試験を受験する上で必要な情報をまとめた試験ガイドです。

Do as I Doトレーナー認定試験はプロのドッグトレーナーを対象としたアドバンス資格です。Do as I Do トレーニングを正確に、効率的に教えるために必要な知識とスキルを持つトレーナーであることを認定するものです。

受験オプション:

認定試験は2つの受験オプションから選べます。

- **試験 + フィードバック:** このオプションでは、各ビデオ提出課題においてオフィシャルDo as I Doメンバーから フィードバックがあります。ビデオ提出後、3週間以内に、提出したビデオに関して、良い点と間違えている点についての指摘とアドバイスがあるので、最終の実技試験に向けた対策が可能です。またビデオ提出時に指導に関する質問をすることもできます。
- **試験のみ:** 提出課題、筆記、実技共に全て試験内容は上記オプションと同じです。このオプションでは、受験者はビデオ提出課題においてフィードバックはなく、個人で試験対策をとることになります。

受験条件:

Do as I Doトレーナー認定取得には、以下全ての条件を満たしていることが必須です。

- 受験に必要な申請書類を全て提出していること
- 必要な動画を全て提出していること
- 筆記試験に合格していること
- 口頭/実技試験に合格していること
- 提出書類受験者は以下のいずれかを満たしていることが必須です。
- ドッグトレーナー資格を2年以上保有していること。(資格認定書のコピーと履歴書を提出)
- ドッグトレーナーコースを受講中(認定前)であり、次のいずれかを満たしている。アジリティ、オビディエンス、ラリーオビディエンス、IPO競技においてレベル2以上の経験を持つ。1頭以上の、1stレベル試験(ベーシックレベル試験)に合格、認定経験があること。



受験申込:

履歴書、ドッグトレーナー認定書、ベーシック試験合格証のコピーをclaudia.happydog@gmail.com宛てに送付して下さい。履歴書には、ドッグトレーニングの専門分野・経験を記載し、参加した全てのDo as I Doセミナーの日時と開催場所と、ベーシックレベル試験の受験日と開催場所を記載して下さい。

動画提出:

受験者は計5つの動画を提出してください: 犬と人のペアにDo as I Doトレーニングを指導する様子がわかる動画を4つと、受験者自身が自身の犬(もしくは受験者がトレーニングした犬)とのセッション動画1つ。

提出方法: 限定公開設定でYouTubeにアップロードし、リンクをclaudia.happydog@gmail.comまで報告してください。動画内、受験者の言葉がはっきり聞き取れること、バックグラウンドで音楽が流れていないことに注意してください。

サブタイトル:

提出動画の言語が英語、イタリア語、スペイン語、フランス語以外である場合、前記言語にてサブタイトルがついていることが必須となります。

オプション: 日本語から英語への翻訳サブタイトル作成サービスは追加費用3万円となります。(提出動画に、動画内の会話を日本語で文字起こししたものを添付してください。文字起こしを元に英訳を作成し動画にサブタイトルをつけます。) fumi@doasido.itへご連絡下さい。

動画課題:

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 行動にバーバルキューをつける | [トレーナーと生徒] |
| 2. Do as I Doプロトコルの第1フェーズ | [トレーナーと生徒] |
| 3. Do as I Doプロトコルの第2フェーズ | [トレーナーと生徒] |
| 4. 新しい行動 | [トレーナーと生徒] |
| 5. 1つの道具で2つの動作 | [トレーナー] |

動画の長さ: 継ぎ・加工・編集は一切認められません(サブタイトルは除く)。動画の長さは8分以内であること。

提出動画について:

動画1:バーバルキュー

受験者は犬とオーナーのペアに、Do as I Doプロトコルに入る前のファンデーショントレーニングを指導します。行動にバーバルキューをつける過程、もしくはバーバルキューで学習済みの行動が実施できるかという確認の様子となります。この最初の動画では、オーナーさんが目的を達成できるようどのようにトレーナーが指導しているかを見ます。

審査のポイント:

- なぜ、トレーナーはそのサンプル行動を選んだか?
- 犬への行動の教え方を、どのようにオーナーに説明しているか?
- 行動にバーバルキューをつける工程をどのようにオーナーに説明しているか?
- オーナーがしている間違いをどのように訂正し指導しているか?



動画2-3:Do as I Do プロトコルの第1と第2フェーズ

受験者は犬とオーナーが犬にDo as I Doで新しい行動を教えられるところまでDo as I Doプロトコルを指導します。

動画2: Do as I Do 第1フェーズ

動画3: Do as I Do 第2フェーズ

審査のポイント:

- ・ どのようにオーナーにプロトコルを説明しているか?
- ・ トレーニング時にどう道具や犬人のポジションや環境を指導しているか?
- ・ どのようにオーナーのミス・間違いを訂正、指導し、セッション中に起きる問題や予期せぬ状況に対応しているか?

動画4: Do as I Doで新しい行動を教える

受験者は犬とオーナーのペアにDo as I Doで新しい行動の教え方を指導し、その行動にバーバルキューをつける工程を指導する。

審査のポイント:

- ・ 新しい行動の選び方、トレーニングセッションの構築、実施の仕方
- ・ セッション前にどのようにオーナーにこのセッションについて説明しているか
- ・ どのようにオーナーのミス・間違いを訂正、指導し、セッション中に起きる問題や予期せぬ状況に対応しているか?

動画5: 自身の犬

受験者は自身の犬に1つの道具に対して2つの行動を模倣することを教えます。(例:前足で椅子を触る、椅子の周りを歩く)動画例は以下リンク参照

https://www.youtube.com/watch?v=s9rZTm2SK_I

<https://youtu.be/zNng9XshLqc>

審査のポイント:

トレーナーがどうセッションを実施しているか(各行動のトライアル、トライアルする行動を変えるタイミング、実施時間、報酬、選択した行動)

注意:「1つの道具2つの動作」で選ぶ2つの動作について:道具に対する動作の結果は同じ状態であること、もしくは対象物を動かさないこと。(NG例、1.物を倒す、2.物の周りを歩く、という2つの行動)

この項目では、犬が人の行動を的確に模倣できているかということを、一つの道具で2つの異なる動作テストで確認します。よって、以下例のとおり、機能的模倣を含まない、またゴールエミュレーションの可能性がない動作を選ぶことが必須となります。

1. 異なる身体のパーツをマッチングして同じ目的を達成する (例:1.鼻/マズルを使って、2.手/前足を使って、ペットボトルを倒す)
 2. 行動の結果として道具を動かさない動作(例:1.椅子に両前足を乗せる、2.椅子の周りをまわる)
- 適切でない動作例 1) 1. ペットボトルを倒す、2. ペットボトルの周りをまわる
適切でない動作例 2) 1.、ピンポンブザーを押す(ブザー音を鳴らすことが目的となりゴールエミュレーションが生じる可能性がある) 2. ペットボトルの周りをまわる。(この2つの動作セットでは模倣のみによる結果を示せません)

この項目についてはICofAのコースにてトレーニングの仕方を学ぶことができます。(受験にあたり受講は必須ではありません) <https://icofa-aai.com/courses/do-as-i-do-follow-up/>

動画1～4のいずれにおいても、オーナーの出来具合は合否評価の対象とはなりません。動画5においては、犬の出来具合は合否評価の対象となります。



評価基準 (動画):

- ・Pass (P) 合格 動画内の内容は全て正しく問題なし
- ・Pass with reserve (PWR) 条件付き合格
一部内容において、口頭試験/実技試験にて出題することがあります
フィードバック付き試験のオプションでは、ビデオ提出から3週間以内に間違えている個所の指摘とフィードバックがあります。
- ・Fail (F) 不合格
一部内容において、口頭試験/実技試験にて出題されます。フィードバック付き試験のオプションでは、ビデオ提出から3週間以内に間違えている個所の指摘とフィードバックがあります。

提出動画に一つ以上の不合格評価がある場合(全て不合格であっても)認定試験に合格するチャンスはありません。

撮影方法について:

受験者、オーナー、犬の全身が撮影されるようカメラを配置してください。例の図のようにオーナーさんの顔が正面となり撮影されることが望ましいです。(左の配置参照)

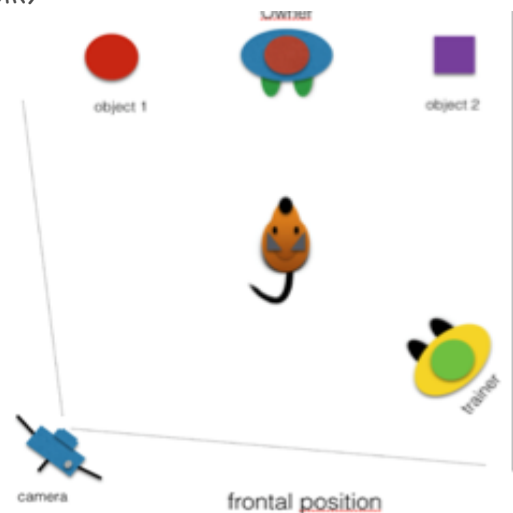


Image: Do as I Do training set (S. Tagliati)

動画タイトルの付け方:

動画ファイルは以下の通りにタイトル付けして下さい。
アルファベットで、受験者の苗字_動画番号_トレーニングフェーズ番号
(例:Smith_video2_Phase1)



提出方法について:

YouTubeにて限定公開設定でアップロードし、関連する説明等を.txtファイルにて、また動画のURLリンクを claudia.happydog@gmail.com宛てに送付してください
※動画翻訳/サブタイトルサービスをお申込みの場合は、動画データが作業に必要となりますので、Google Drive等にて動画と文字起こしデータを**buddybuddy.fumi@gmail.com**と共有してください。

筆記試験:

筆記試験に合格した受験者のみが、口頭/実技試験に進むことができます。

筆記試験:

筆記試験は択一式24問、制限時間は1時間半です。犬の行動学基礎知識、個体学習、社会的学習より出題されます。

出題基準

受験者は以下のトピックについて具体例をあげ、ディスカッションすることができること。

犬の行動学基礎知識

- ・ 犬の知覚能力
- ・ 家畜化を経て進化した犬の素因
- ・ 犬が選好する学習情報

個体学習:

以下において例を掲げ、定義を説明することができること:

- 古典的条件付け
- オペラント条件付け
- 強化について (正、負、スケジュール)
- 弱化について(正、負)
- 消去
- ブロッキング(阻止)
- オーバーシャドーイング(隠蔽)
- 般化
- 馴化
- 感作/鋭敏化
- 条件刺激・非条件刺激
- シェーピング
- ルアーリング

社会的学習:

- 刺激強調
- 局所強調
- Do as I Do 第1フェーズ
- Do as I Do 第2フェーズ
- 連鎖行動の構築方法
- 新しい行動の教え方
- フライング(先走り)の予防方法

採点・評価 (筆記試験):

不正解数 4問以下: 合格 – 口頭/実技試験を受験できます

不正解 5問: 口頭/実技試験の受験することが可能ですが、筆記で不正解の項目は口頭/実技試験内にて質問されます。

不正解数 6問 以上: 不合格 – 受験者は口頭/実技試験を受験できません。



口頭/実技試験:

口頭/実技試験において、受験者は

- ・ 筆記試験、提出した動画について一部口頭質問があります。
- ・ 試験官から出題された課題において、生徒役と犬のペアを指導する。(ファンデーショントレーニング、Do as I Doトレーニングプロトコルから出題)

Do as I Doトレーナー認定取得のメリット

・認定Do as I Doトレーナーは、ホームページ認定リストに登録され、Do as I doの公式トレーナーロゴを使用することができます。<http://www.doasido.it/certified-trainers/>

・認定Do as I Doトレーナーは関連する事業(コース、ワークショップ等)の告知をオフィシャルDo as I DoのSNSサイトにて行うことができる

受験料:

試験 + フィードバック: T930ユーロ、各ビデオ提出課題においてフィードバックがあります。うち、750ユーロはお申し込み時にお支払い下さい。最終試験となる口頭/実技試験時に残りの180ユーロをお支払い下さい。(※主催者によって会場費、試験運用諸経費等が加算されることがあります。)

試験のみ: 本試験とビデオ提出のみのオプションです。受験者はビデオ提出課題においてフィードバックはありません。250ユーロをお申し込み時にお支払い下さい。提出課題、筆記、実技共に全て試験内容は上記オプションと同じです。

受験料の返還について:

受験申込書が受理された後および、一旦納入された受験費、翻訳/サブタイトル費は返還しません。期日までに5本全ての動画を提出できない場合、受験者は本試験(筆記、口頭/実技)を受験することはできません。ただし、受験者は動画提出期日の延期を申請し、変更前の試験日程から8か月以内に他都市・他国会場にて実施される本試験を受験することが可能です。本試験の日程変更は一度のみ可能です。なお、会場変更に伴う追加費用が試験主催者より請求される場合もございます。

